

第65号

酪農とちぎ



- | | | | |
|-------|---------------------------|--------|------------------|
| 1 ページ | 表紙 | 6 ページ | 災害見舞金御礼 |
| 2 ページ | 通常総会 | | 東西南北（那須高原支所） |
| 3 ページ | 乳質共励会表彰 | 7 ページ | 東西南北（宇都宮支所、県南支所） |
| 4 ページ | 菊池組合長に黄綬褒章 | 8 ページ | 部課だより 生乳販売課 |
| 5 ページ | 原発事故に伴う牧草の損害状況 | 9 ページ | 〃 業務部 |
| 折込 | 菊地啓介氏
全農学生「酪農の夢」最優秀賞受賞 | 10 ページ | 理事会だより・市場成績 |



第十回通常総会、臨時理事会開催

〈常勤三役再任のもと新執行体制始動!〉

去る六月二十日、高根沢町民ホールにおいて栃木県農政畜産振興課神辺課長補佐、塚原副主査を来賓に迎え、酪農とちぎ農業協同組合第十回通常総会が開催されました。

第九回より総代を廃止し総会制に移行しましたが、組合員六百二十名に対し当日出席者百五十八名(内、代理出席一名)、書面議決三百九十五名を数え、総代会の時の出席者数が百四十名余であったこと、前回に比べ当日出席者が二十名減ったことを考えると、いかに協同意識を高めながら協同活動への参加をさらに向上させていくかが課題と思われまます。



総会の審議にあたって、議長には後藤信夫氏(那須塩原市)、小林隆志氏(芳賀町)の両名が選任され、円滑に議事を進行して頂き、全議案とも賛成多数で可決承認されました。



(左 小林隆志氏、右 後藤信夫氏)

後、新任された役員(理事二十名、監事四名)それぞれから就任挨拶があり、続いて退任される役員五名のうち、四名から、

審議においては、井上徹男氏(那須塩原市)より「組合員数の減少に伴って職員数の削減が課題だが、下部組織事務局としての活動支援を見直すなどして従来の仕事量を減らし対応範囲の改善を図らなければ職員数の削減にはつながらないこと、そういったことを含め組合員や組織に対する対応を修正し、先を見越した中で組織運営にあたって欲しい。」との意見要望があり、それに対し菊池組合長から「意見を受け止めて業務改善、組織運営に努めていきたい。貴重な御意見に感謝申し上げます。」との答弁がなされました。

全議案の審議が終了し、議長から議事進行の謝意が述べられ降壇

在任中の事業協力に対する謝意と退任後の協力が述べられ、坂主副組合長の閉会宣言により通常総会を終了いたしました。



(井上徹男氏)

総会終了後、高根沢町農村環境改善センター「和室」にて臨時理事会、監事会が開催されました。臨時理事会において菊池一郎代表理事組合長、坂主正代表理事副組合長、赤堀誠専務理事が再任され、総務委員長に小林幸雄氏、総務副委員長に菊地右氏、販売委員長に中島隆氏、販売副委員長に白井勉氏、業務委員長に伊藤謙三氏、業務副委員長に物井通氏がそれぞれ再任されました。また、監事会において代表監事に熊谷貞二氏、第一監事に長浜金一郎氏が再任されました。役員会の専門委員会分担について下表をご覧ください。

委員会名	委員長名	副委員長名	委 員 名
総 務	小林幸雄	菊地 右	坂主 正、赤堀 誠、岡田建史、杉野 繁、仙波吉雄、永島
販 売	中島 隆	白井 勉	渡辺伸一
業 務	伊藤謙三	物井 通	坂主 正、赤堀 誠、印南 昇、菊地正明、高橋平治、田代和一、根本壽一、松山 秀



(新任役員就任挨拶)



第9回乳質共励会表彰者名簿

表彰区分	支所名	組合員名	連続賞	県表彰
最優秀賞	那須高原支所	前田 宏 幸	8年連続	県知事賞
優 秀 賞	〃	猪 瀬 良 一	2年連続	農政部長賞
	〃	田 代 和 一	3年連続	農政部長賞
	宇都宮支所	小 口 誠 一	4年連続	農政部長賞
	那須高原支所	岸 一 明		
	〃	室 井 元		
	〃	人 見 浩 美	2年連続	
	〃	高 梨 良 一		
	〃	北 向 秀 雄	2年連続	
優 良 賞	〃	後 藤 浩	2年連続	
	〃	皆 川 悦 郎		
	〃	薄 井 康 子		
	宇都宮支所	小 高 章		
	〃	手 塚 薫		
	県南支所	山 口 文 男		
	〃	井 沢 孝 之		
	〃	伊 沢 琢 磨		
	那須高原支所	菊 地 清 一		
	〃	人 見 修 由		
	宇都宮支所	小 林 幸 雄		
	那須高原支所	星 昭 男		
	〃	佐 藤 栄 昭		
	宇都宮支所	小 祝 正 則		
	〃	羽 田 栄		
	県南支所	三 柴 秀 夫		
	那須高原支所	根 本 勝 浩		
	〃	小 針 秀 夫		
宇都宮支所	山 本 修			
那須高原支所	石 井 悦 子			
〃	利 根 川 晟			
宇都宮支所	大 野 雅 美			

通常総会議案の審議に先立ち、良質乳出荷者の表彰が行われました。
受賞された方々に敬意を表し、謹んでお祝い申し上げます。

第9回（平成二十二年度） 乳質共励会表彰



（受賞者の方々）



（県知事賞受賞 前田宏幸氏）



菊池組合長に黄綬褒章



菊池一郎代表理事組合長の黄綬褒章受章祝賀会が七月三十日、酪農とちぎ役員一同（代表坂主正）が発起人となり、宇都宮市内のホテル東日本宇都宮「大和」の間において、関係者約百八十名が参加して盛大に開催されました。

祝賀会は、坂主正代表理事副組合長の発起人代表挨拶にはじまり、赤堀誠専務理事から功績披露、福田富一栃木県知事、砂金甚太郎全酪連会長、奥澤捷貴^{としかか}関東生乳販連会長が祝辞を述べられました。

続いて、記念品、花束が贈られ、菊池組合長より、「今回の受賞は御臨席いただいた皆様をはじめと

する多くの方々の御教示の賜物であり感謝申し上げます。この褒章受章に甘んじることなく、酪農・乳業の発展に尽力したい。」と力強い謝辞がありました。

このあと、大谷範雄那須烏山市長の乾杯の発声で祝宴となりました。

菊池組合長は、昭和四十二年三月に宇都宮農業高校を卒業すると家業である農業経営に従事し、学



（福田県知事による祝辞）

校給食への牛乳供給を背景に牛乳の需要増大が見込まれる酪農を生業としたいと考え、育成牛二頭を地元から導入して酪農業の道を歩み始めました。

研究心と向上心をもって乳牛改良、自給飼料生産、飼養管理改善に取り組み、地域における先導的酪農経営を実践するとともに、酪農青年部、牛群検定組合、乳牛改良同志会などの組織活動を通じ仲間と切磋琢磨しながら栃木県の酪農振興と組織体制の確立に貢献されました。

こうした真摯な姿勢と卓抜した指導力が評価され、平成四年に栃木県三和酪農業協同組合の理事に推挙され、平成七年には同組合副組合長に、平成十年には代表理事組合長に就任され組合発展に尽力されました。

そして、社会・経済情勢の急激な変革による酪農業の構造的変化に対応するために栃木県内酪農協の合併を積極的に推進し、平成十三年八月一日に酪農とちぎ農業協同組合が設立され代表理事副組合



（大谷那須烏山市長による乾杯）

長に就任、平成二十年六月より代表理事組合長に就任し、平成二十一年七月より関東生乳販連代表理事副会長として、栃木県はもとより関東ブロックにおける生乳共販体制の確立と酪農振興に御活躍いただいております。

先年は、産業振興功労として県知事表彰を受けられましたが、このたびは酪農・畜産の振興と発展に多大な貢献をされた功績により、受章の栄に輝かれました。

皆様とともに心より功績を讃え、菊池組合長の益々の御活躍を御祈念申し上げます。



牧草の被害は 8 億円以上にのぼる！

3月11日に発生した福島原発事故により管内の牧草は大きな被害を受け、7月現在で組合員274戸より損害請求の申し出があり、その額は現時点で8億円以上にのぼり、今後、2番草や廃棄費用等の損害を合わせると10億円以上になると見込まれております。

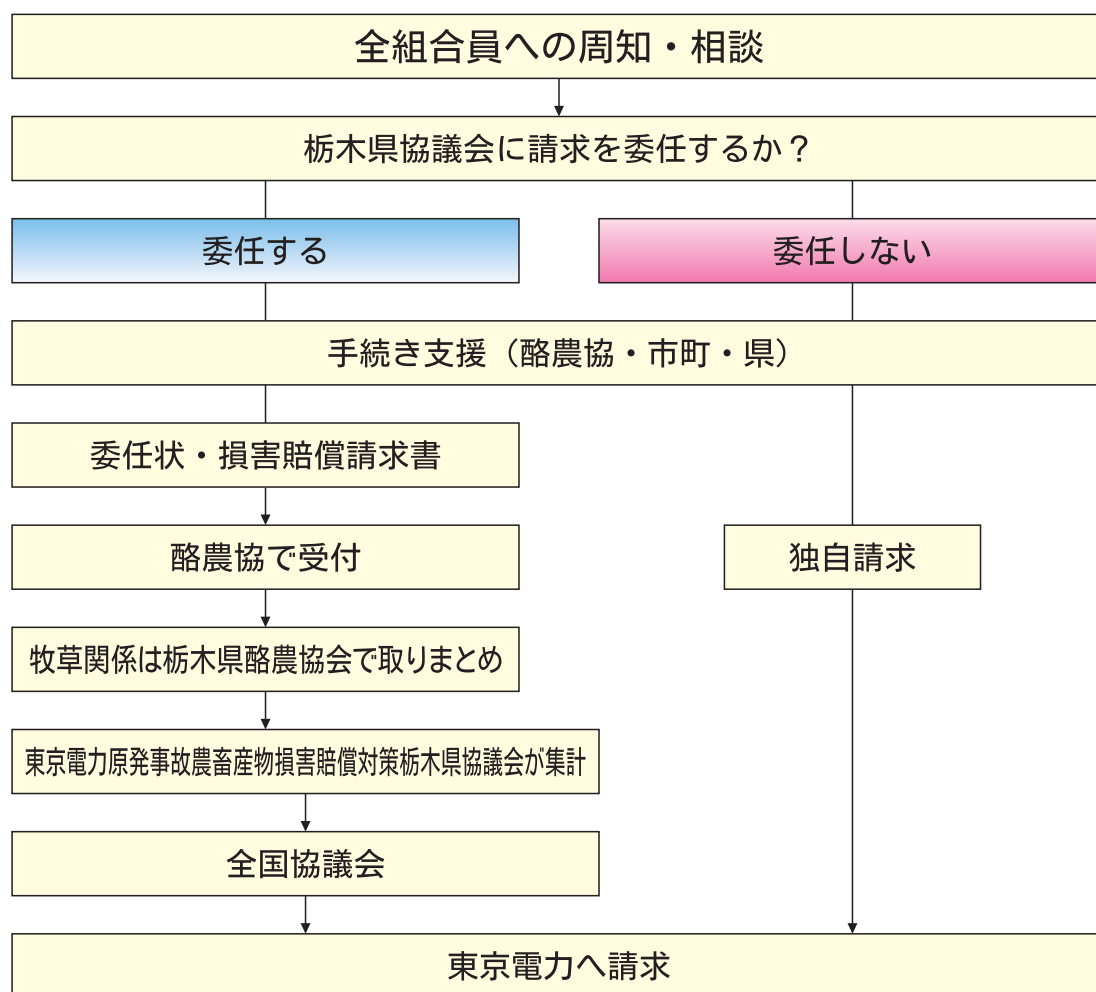
現在のところ、牧草の処分・廃棄方法について国より指導は出ているものの、どのようにその廃棄費用等を東京電力に請求するかについては決定しておりません。栃木県協議会と協議中でありますので、明らかになり次第お知らせいたします。

また、2番草についても検討中ではありますが、基本的には一番草と同様な書類が賠償請求に必要となりますので準備をお願いします。

組合としては、今後とも組合員の皆様が不利益を被らないよう国からの利用制限・風評被害等の減収分の請求に対処してまいりますので、不明な点等がある場合には支所にお問い合わせください。

毎月1回取りまとめの上、請求を行ってまいります但し期間を遡っての請求も可能です。

原発事故に伴う牧草等の損害賠償の流れ



損害賠償の請求書の提出は所轄支所へ



災害見舞金寄贈者名簿

寄 贈 者
(社) 日本乳業協会
(社) 全国酪農協会
全国酪農協同組合連合会
関東生乳販売農業協同組合連合会
東日本大震災対策酪農団体協議会
(株) みずほ銀行 宇都宮支店
(株) ミロク情報サービス
(社) ジェネティクス北海道
アギー・テック (株)
(株) 鈴木物産
(株) 大正堂
フジタ製薬 (株)
プラスフィールド (株)
デイリー・ジャパン関東支局
(有) 川崎屋運送
(有) デイリーダイレクト
プレインヒルファーム 大迫誠一
齋藤譲一税理士
片岡 英治

順不同・敬称略

この度の東日本大震災の被災に際し、左記の方々より暖かい励ましとお心遣いを賜りましたことに対し、心より感謝申し上げます。

お蔭様を持ちまして、本所・高根沢配送センター等の建物復旧工事が完了し、通常業務体制に戻ることができました。



(本所 天井崩落状況)



(本所 復旧工事状況)

平成一十二年度支所活動推進協議会 スケジュール決定

那須高原支所

去る六月二十三日、那須高原支所会議室に於いて那須高原支所活動推進協議会運営委員会が開催され、平成二十三年度の事業推進事項が決定されました。

開催にあたり中島隆（那須地域）協議会会長より、先般行なわれた役員会において、新協議会会長に塩原西那須野地域酪農組合長の白井勉氏に決定した旨の報告がありました。

つづきまして年度内の事業推進について慎重審議の結果、次に挙げる内容に決定されました。

- ① 牛舎環境調査（七月二十日より）
- ② 野外パーティー（八月四日・那須町共同利用模範牧場）
- ③ 研修会（講演会・十一月開催）
- ④ ボウリング大会（平成二十四年二月開催）

最後に三月に発生した東日本大震災・福島原発の影響でしばらくの間厳しい状況が続くと思うが、我々生産者が元気を出しこの局面を乗り越えていこうという挨拶で運営委員会を閉じました。



宇都宮支所

『体細胞数低減について』

地域の仲間と話し合おう

那須南地域酪農組合では、乳質向上の目的で毎年乳質共励会とバルク乳スクリーニング検査を実施しています。その一貫として今回は体細胞数低減に向けた、勉強会を開催しました。

開催のポイントは、獣医師やコンサルタントを講師として招くのではなく、地域内で体細胞数を低く維持している仲間三名をパネラーとして招き、実際にどんなことをしているのかを参加者と共に意見交換したことです。

質疑内容は牛床の管理、搾乳機



械、搾乳手法、乳房炎の発見・治療、飼料給与など多岐に渡りました。

パネラーからの、体細胞数低減のポイントは次のとおりで、共通した努力をされておりました。

★とにかく牛床をきれいにする。
(まめな清掃とエスカリウ、消石灰を併用する)

★搾乳機器の性能を維持する。
(消耗品は定期的に交換する)

★搾乳衛生と、過搾乳にならないよう注意する。

★バルク乳を検査に出し日々の体細胞数をモニターする。

★乳房炎を早期に発見し、早期に治療する。

終了後、参加者からは、顔を知っている仲間が具体的に実施していることを直接聞くことができたため、非常に参考になり有意義な講習会であったとの声がありました。このように地域の仲間の良い情報を共有して行くことが、今後の酪農経営の発展に繋がるものと期待しています。

県南支所

平成二十三年支所事業について

七月二日、県南支所にて支所活

動推進協議会(山口文男会長)を開催し、今年度事業について次の通り決定致しました。

●七月 消毒槽配付

家畜伝染病予防法の改正により、畜舎等への出入口付近に消毒槽の設置が義務付けられたことから、全戸配付し防疫対策への意識高揚を図ります。

●八月九日 全体研修会

菊池組合長・酪農情勢について
吉成診療課長・バルクスクリーニングのフォローアップと周産期対策について

●十一月 花の苗配付

パンジーとビオラを配付し、環境美化に努めます。

●十二月 全体交流会

組合員間の親睦交流を深めるため、バーベキューやお楽しみ抽選会を開催します。

●税務申告学習会

組合員の根本壽一氏(ソリマチ農業ソフト認定インストラクター)と石川明氏の両名が、記帳指導及び青色申告決算書の作成指導を、年度内に四回程度行います。また、税理士による申告指導も予定しています。

以上、「楽・学・絆」を盛り込んだ実施計画ですので、是非ご参加

又は対応を宜しく願います。

県南地域稲発酵粗飼料

利活用推進検討会を開催

七月五日、県南支所にて第一回の検討会を開催し、生産者や給与者をはじめ、関係機関等五十三名が出席しました。会議では、事務局から規約の設定やハイグレード稲発酵粗飼料利活用の取組状況等を説明したほか、コーディネーターである芳賀農業振興事務所から、生産利用マニュアル等の説明や助言を頂きました。

最後に、栃木農政事務所から、国産粗飼料増産対策事業への理解と協力を求められ、閉会となりました。



部課だより

生乳販売課

暑熱対策をお願い致します。

六月度組合の生乳生産量は、前年比九四・六％（一六、五七一t）、関東の受託乳量は前年比九四・四％と大きく前年を割り込みました。この大きな要因は、六月中旬からの暑さと昨年の酷暑の影響による分娩時期の遅れ等によるものと考えられます。現在も同様な状況が続いておりますので、暑熱対策と適正な牛群管理をお願い致します。各支所の生乳生産量・乳質成績はグラフのとおりとなります。また、出荷組合員数は五三三戸（前月五三五戸、前年五一五戸）の内、学校・公共団体四戸でした。販売状況は、全生乳販売連内の用途別、受生産量が急激に減少したため、飲用向け処理量が前年比九三・五％となっており、また、原料乳の不足により加工率が減少し、前年を〇・四八％下回る実績となりました。

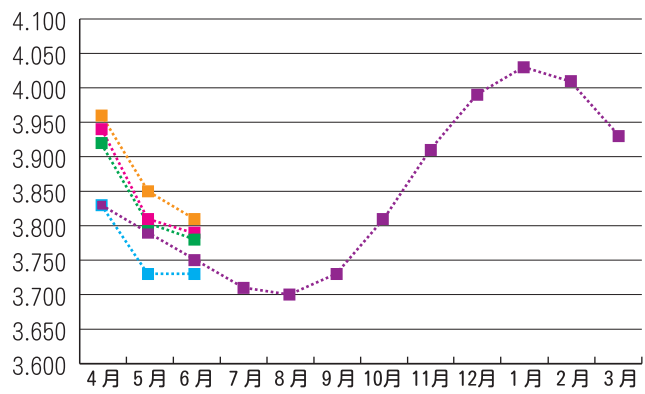
七月は、六月累計の組合生乳生産量は四一、四二二t（前年比九五・七％）で推移して、当面生産量が、酷暑の影響により当面生産量がさらなる減少することが予想されます。二、六月の累計受託乳量は一九三・二五t（前年比九三・九％）となっており、用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

関東生乳販連用途別販売数量

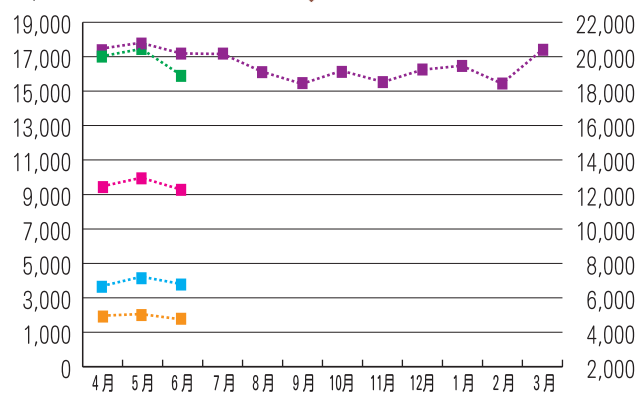
(単位：kg・％)

用途	6月実績	前年実績	前年比	4-6月実績	前年実績	前年比
飲用牛乳向け	72,771,483	77,790,422	95.6	222,556,849	228,572,304	97.4
(うち学校向け)	14,646,266	14,688,157	99.8	36,530,174	37,249,787	98.1
はっ酵乳向け	14,592,934	15,362,935	103.6	43,891,809	45,119,115	97.3
特定乳製品向け(加工)	5,610,524	6,517,630	104.2	19,836,825	33,429,736	59.3
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	4,291,590	0.0
生クリーム向け	2,215,007	2,514,321	109.8	6,774,670	8,160,980	83.0
チーズ向け	68,700	75,916	121.0	196,766	219,951	89.5
総受託乳量	95,258,648	102,261,224	97.6	293,256,919	315,502,086	92.9
加工比率	5.89	6.37	-	6.76	10.6	-

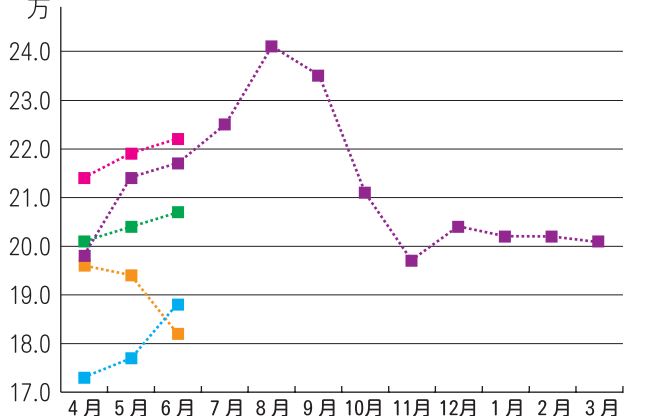
脂肪率の推移



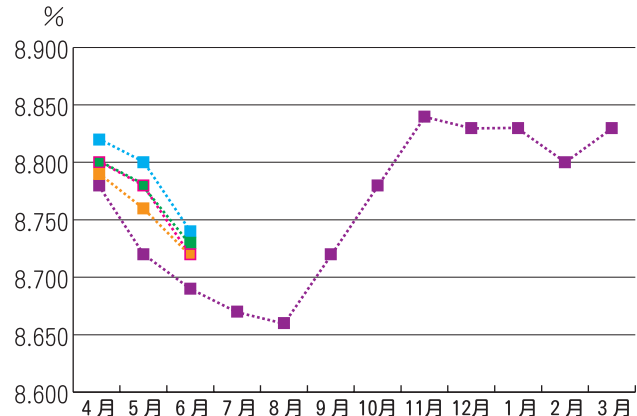
乳量推移



体細胞数の推移



無脂乳固形分率の推移



業務部

七月一日現在での乳牛飼養動態調査を実施した結果が取り纏められたので以下のとおり報告します。

一 出荷者戸数について

昨年七月の調査以降の酪農中止者は二七戸（七月比五％減）で五三三戸となりました。酪農中止の理由は、高齢や後継者がいないが五戸、経営転換や他産業への転業が六戸、震災による施設の被災が一戸、死亡・病気療養その他が十五戸となっています。

二 飼養頭数について

団体を除く飼養頭数は前年七月より六二四頭（一・七％）減少し三五、四四四頭でした。そのうち、経産牛は二八五頭（一・一％）減少し二四、六〇三頭、自家育成は四一八頭（四・八％）減少し八、三六二頭でしたが、外部預託牛については七九頭（三・三％）

増加して二、四七九頭でした。一戸平均の飼養頭数は二・一頭増加して、六七頭です。自家育成コストとの優位性からか外部預託が増加傾向にあります。

三 分娩頭数について

七月から一月までの分娩予定頭数は、前年同期に比べ一、〇四五頭と大幅に増加し一四、二九三頭です。八月から十月に分娩が集中していることから、分娩事故も心配されますので、組合員の皆様においては暑熱対策及び周産期管理の徹底をお願いします。八月以降に分娩が期待できることから、秋頃から生乳生産の回復が見込まれることとなります。

また、品種別受胎状況は、ホルスタイン種四十九・一％と前年の五五・六％を大きく下回り、交雑種は逆に四十二・八％と前年の三七・五％から五・三％増加し、和牛ETについても六・九％から八・一％と増加しています。

乳牛飼養動態調査表

(平成23年7月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数							1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数 (H22.7は実績頭数)								
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛				合計	H23.7月	8月	9月	10月	11月	12月	H24.1月	合計
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未妊性	初妊牛	未妊性											
那須高原支所	H23.7 (構成比)	331	12,769	2,053	14,822	1,850	3,468	478	1,212	21,830	66.0	556	1,214	1,244	1,222	1,098	1,229	1,061	1,123	8,191
	H22.7 (構成比)	346	12,761	2,023	14,784	1,887	3,841	418	1,149	22,079	63.8	516	1,155	1,127	1,010	1,042	1,114	1,237	1,134	7,819
	増減	▲ 15	8	30	38	▲ 37	▲ 373	1.9%	6.0%	63	▲ 249	2.1	40	59	117	212	56	115	▲ 176	▲ 11
宇都宮支所	H23.7 (構成比)	93	3,031	550	3,581	607	1,020	91	304	5,603	60.2	105	316	345	381	327	294	285	247	2,195
	H22.7 (構成比)	100	3,321	541	3,862	559	1,076	99	309	5,905	59.1	161	282	339	301	255	281	272	300	2,030
	増減	▲ 7	▲ 290	9	▲ 281	48	▲ 56	▲ 8	▲ 5	▲ 302	1.2	▲ 56	34	6	80	72	13	13	▲ 53	165
県南支所	H23.7 (構成比)	105	5,202	998	6,200	512	905	81	313	8,011	76.3	214	471	600	644	571	589	494	538	3,907
	H22.7 (構成比)	110	5,354	888	6,242	459	958	95	330	8,084	73.5	297	537	427	490	516	441	494	494	3,399
	増減	▲ 5	▲ 152	110	▲ 42	53	▲ 53	▲ 14	▲ 17	▲ 73	2.8	▲ 83	▲ 66	173	154	55	148	0	44	508
小計	H23.7 (構成比)	529	21,002	3,601	24,603	2,969	5,393	650	1,829	35,444	67.0	875	2,001	2,189	2,247	1,996	2,112	1,840	1,908	14,293
	H22.7 (構成比)	556	21,436	3,452	24,888	2,905	5,875	612	1,788	36,068	64.9	974	1,974	1,893	1,801	1,813	1,836	2,003	1,928	13,248
	増減	▲ 27	▲ 434	149	▲ 285	64	▲ 482	38	41	▲ 624	2.1	▲ 99	27	296	446	183	276	▲ 163	▲ 20	1,045
*1 団体	H23.7 (構成比)	4	61	47	108	27	53	0	0	188	47.0	21	16	8	9	6	5	7	10	61
	H22.7 (構成比)	5	74	53	127	39	38	0	0	204	40.8	28	11	9	8	7	9	5	7	56
	増減	▲ 1	▲ 13	▲ 6	▲ 19	▲ 12	15	0	0	▲ 16	6.2	▲ 7	5	▲ 1	1	▲ 1	▲ 4	2	3	5
合計	H23.7 (構成比)	533	21,063	3,648	24,711	2,996	5,446	650	1,829	35,632	66.9	896	2,017	2,197	2,256	2,002	2,117	1,847	1,918	14,354
	H22.7 (構成比)	561	21,510	3,505	25,015	2,944	5,913	612	1,788	36,272	64.7	1,002	1,985	1,902	1,809	1,820	1,845	2,008	1,935	13,304
	増減	▲ 28	▲ 447	143	▲ 304	52	▲ 467	38	41	▲ 640	2.2	▲ 106	32	295	447	182	272	▲ 161	▲ 17	1,050

※ 1 H23.7の団体件数は、高校2校、大学1校、栃木県畜産酪農研究センター1カ所
H22.7の団体件数は、高校2校、農大1校、大学1校、栃木県畜産酪農研究センター1カ所



理事会だより

臨時理事会（四月十一日）

協議事項

- (一) 三月分乳代精算に関わる「みなし乳量」の確定について

四月度理事会（四月二十八日）

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 災害復旧工事（本所・高根沢配送センター・那須高原CS）について

協議事項

- (一) 三月度及び平成二十二年度事業実績について
- (二) 平成二十二年度乳質共励会表彰について
- (三) 第十回通常総会付議事項について
- (四) 役員（全域理事一名）候補者の選出について
- (五) 役員（全域理事一名）推薦委員の選出について

臨時理事会（五月六日）

報告事項

- (一) 牧草の放射性物質含有量調査結果について

協議事項

- (一) 牧草等の放射能汚染に伴う組織対応について
- ① 暫定許容値を上回った地域の牧草収穫・保管の指導徹底

- ② 再調査予定地域における牧草等の給与・放牧の禁止徹底

- ③ 代替飼料の確保及び購入飼料費増加に伴う負担軽減

- ④ 福島原発事故農畜産物損害賠償請求に関わる対応

臨時理事会（五月十一日）

報告事項

- (一) 牧草の放射性物質含有量調査結果について

協議事項

- (一) 牧草等の放射能汚染に伴う組織対応について
- ① 代替飼料の確保及び購入飼料費増加に伴う負担軽減支援

臨時理事会（五月二十六日）

報告事項

- (一) 牧草の放射性物質モニタリング調査結果について

協議事項

- (一) 代替飼料等の購入に伴う負担軽減支援策について

五月度理事会（五月三十一日）

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 職員人事について
- (五) 災害復旧工事（宇都宮支所研修棟）について
- (六) 役員推薦会議報告について

協議事項

- (一) 平成二十二年度事業実績に

- ついて
- (二) 剰余金処分案について
- (三) 四月度事業実績について

六月度理事会（六月十七日）

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 組合プール乳価について
- (三) 災害復旧工事（ふれあい牧場）について
- (四) 災害見舞金について

協議事項

- (一) 五月度事業実績について
- (二) 夏季手当の支給について

臨時理事会（六月三十日）

協議事項

- (一) 執行体制について
- (二) 役員理事の選任について
- (三) 理事報酬の配分について
- (四) 専門委員会分担及び正副委員長の互選について
- (五) 外部団体等の役員改選について

七月度理事会（七月十八日）

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 組合プール乳価について
- (三) 専門委員会分担及び正副委員長報告について
- (四) 乳牛飼養動態調査結果について
- (五) 夏季手当の支給について

協議事項

- (一) 六月度及び第一四半期事業実績について
- (二) 全国酪農業協同組合連合会の役員選任について

7月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
十勝	7月6日	763	637	83.5%	511	88	79	607
南北海道	7月8日	118	100	84.7%	471	5	5	562
豊富	7月14日	325	213	65.5%	481	0	0	0
北見	7月15日	360	208	57.8%	463	11	4	615
釧路	7月20日	233	140	60.1%	485	3	1	633
根室	7月21日	489	302	61.8%	481	55	31	571
合計		2,288	1,600	69.9%	490	162	120	596
前月		2,086	1,468	70.4%	493	120	94	579
前年同月		2,119	1,504	71.0%	496	100	80	642

道内の資源は増えていますが生乳生産不足で需要も堅調なため、今後は横ばいで推移するものと思われます。購買希望がありましたら、支所業務推進課あるいは本所指導企画課までお問い合わせ下さい。

8月度家畜市場成績（単位：円（税込））

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野（8/5）	ホルス雄	167	165	60	51,450	530	35,624
	F 1 雄	107	105	56	161,700	45,150	113,400
	F 1 雌	90	90	53	91,350	13,650	67,037
館林（8/7）	ホルス雄	1	1	77	28,350	28,350	28,350
	F 1 雄	10	10	93	164,850	127,050	150,885
	F 1 雌	6	6	85	134,400	84,000	103,950

現在、酪農家の廃用牛同様、肥育農家は仕上がった牛を出荷できず、さらには、いつ出荷制限が解除されるか分からない状況です。少なくとも制限が解除されるまでは、スモール相場は安値で推移するものと思われます。

